

灯



今年加計学園獣医学部新設問題が耳目を集めた。まだ納得との報道には至らないのは加計学園に便宜を図った、という回答以外マスコミなどが認めるつもりがないからかも…。首相の答弁はさておき私学関係の一人として、少し違う観点を記してみた。

論異問題加計



草野 義輔

①日本の獣医師養成は国際的に遅れている。人間な

ら外科、内科など多くの診療科があるが、獣医師は大きな動物から小さなペット、鳥や爬虫類も対象。骨折も内臓の病気も診る。鳥インフルエンザなど家畜伝染病は国難の恐れもあるのにペット中心の獣医師ばかりが人気。総合的な獣医師の養成がなされていない、と知人の私大学

長。

②大学誘致は企業誘致と同じ。過去に多くの自治体が多額の支援をして大学を誘致してきた。わが県も立命館アジア太平洋大学（APU）の誘致に150億の県費を投入。加戸守行前愛媛県知事の「10年前から加計学園に絞って交渉」発言は当然で、企業誘致は三顧の礼を尽くさないと実現は厳しい。

③四国で全く獣医師養成がない奇妙さを、文部科学省が長期間放置していたことが出る余地はなかった。

今月の初の推薦入試は約30倍の競争率。必要度は高そうだが。この問題は苦難の地方創成努力が違う形で顕在化した、との見方もできる。

（昭和学校高校理事長・日田市）